

西学園だより



令和4年12月16日

雲南市立認定こども園西こども園
雲南市立西小学校

【文責 表面 梅木 裏面 小田】

8月26日から始まった2学期も終わりを迎えようとしています。2学期は、運動会、市陸上大会、遠足、宿泊研修、修学旅行、ロードレース大会、いきいき発表会といった行事、各学年の学習などを進めることができました。保護者の皆様や地域の皆様には様々な場面でご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございました。



保護者に見守られながらの運動会

学校保健委員会を開催しました

12月1日に学校保健委員会を開催しました。学校医の濱本先生、学校歯科医の青木先生をはじめ関係各機関、PTA 役員、保健体育部員の皆様に参加していただきました。今年度も本校の課題になっている“視力”と“むし歯”に着目して意見交換を行いました。まず、身体教育医学研究所うんなんの北湯口さんから、ここ数年間の全国、県、市の保健調査の結果をもとに、「全国も雲南市も、視力 1.0 未満の児童が年々増加している」「全国的にむし歯になる児童生徒は減少傾向にあるものの、雲南市ではむし歯になる児童生徒が全国より多い」などの情報を提供していただきました。

本校の児童をみると、次のような実態がありました。

- ・視力 1.0 未満の児童は増加傾向にあり、その3分の1は視力 0.3 未満である
- ・全てのむし歯の割合は全国同様に減少傾向であるが、令和3年度でいうとその割合が全国は 39%、本校は 63.1% (R4: 62.1%) となっている。

大東中学校区で実施している「元気アップカード」では、歯磨きを欠かさずしている児童が多いという結果の一方で、むし歯がある児童の割合が多いということは、歯磨きの“内容”や“質”に課題があるのではないかと考えられます。そこで、次のように会をまとめました。

① 主体的に取り組む子どもに！

将来の病気予防につながることも含め、正しい知識を学び、自分の健康を自分で守る子に育てていく

② 幼い時ほど保護者の関わりが大切！

低学年では、しっかり褒めながら良い習慣を身に付けさせ、年齢が上がるにつれ自立に向けた関わり（声掛け）をしていく

③ 今取り組んでいることを大切に！

「家族でガンバルウィーク」は、メディア接触の時間を減らし、その時間を何に使うかを意識する取り組みに変更した。やればいいのではなく、どのようにするかを大切に今後ともいねいに取り組んでいく

保護者面談にご参加ありがとうございました

12月13日より個人懇談会を開催しました。一部の学年で延期をしましたが、年末のご多用の時期にお出かけいただきありがとうございました。お子様の学校生活の様子をもとに、これからの学習や生活について共有する貴重な時間となったと思います。この機会に限らず、お子様の学習や生活、友達関係など、ご心配や不安なことがありましたら、相談窓口を設けておりますのでご相談ください。（電話 43-2801）

○学習や生活など 特別支援教育コーディネーター 杉谷恵子、中林絹望

○ハラスメント、いじめ問題など 学校相談員 教頭 松本博志、養護教諭 石倉綾美

○学校への行きしぶり、不登校、いじめ問題、家庭のしつけなど

スクールカウンセラー 藤原 寛、養護教諭 石倉綾美

<お知らせ> 2学期の終業式は12月23日（金）、3学期の始業式は1月10日（火）となります。
また、12月28日（水）から1月4日（水）まで学校は閉庁となります。